

3年生 「社会科」の学習 3年生では、こんな学習をします。

*学習の目標

- (1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市（区、町）について、地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子を観察・調査したり地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができるようにします。
- (2) 地域には、生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること、その特色及びそれが他地域と関わっていることを見学・調査して調べ、人々の工夫を考えることができるようにします。
- (3) 地域社会における災害や事故から人々の安全を守る工夫について、消防署などを見学・調査して調べ、人々の安全を守るための関係機関とそこで働いている人の工夫や努力を考えることができるようにします。

☆授業の工夫

- 3年生にとって「社会科」は、初めて出会う教科です。そこで「社会科っておもしろい！」と感じさせるため、「社会科」の基本となる「調べることって楽しいな」と子どもたちに気づかせるような授業を計画しています。
- 地域社会や自分たちの生活と密接に関わる学習内容が多い3年生の社会科。子どもたちの疑問を大切に、それについて意欲的に調べ、そしてそれをまとめる活動を重視します。
- 3年生で扱う主な資料は地図です。いきなり地図記号や方位等の指導からはじめるのではなく、地図に親しむ活動から入るなど子どもの興味・関心を大切にした学習をすすめます。

☆年間の学習計画

	前 期	単 元	2 広島市の人びとの仕事 (1) わたしたちの暮らしと商店の仕事	14	3 安全な暮らしを守る (1) 火事からいのちを守る	8
材	1 わたしたちのすむまちや広島市の様子		後 期		(2) 交通事故をふせぐ	8
	(1) 学校のまわりのようす	13	(2) わたしたちの暮らしとものをつくる仕事	12		
	(2) 広島市のようす	9	・ 広島かきを育てる仕事			
補 充 ・ 発 展 学 習						

☆評価の観点

- 【社会的事象への関心・意欲・態度】**
社会的事象に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して社会の一員として自覚をもって責任を果たそうとすることができる。
- 【社会的な思考・判断】**
社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、社会的事象の意味を考え、適切に判断することができる。
- 【観察・資料活用の技能・表現】**
社会的事象を的確に観察、調査したり、各種の資料（絵、図、地図、写真など）を効果的に活用したりするとともに、調べたことを表現することができる。
- 【社会的事象についての知識・理解】**
社会的事象の様子や働き、特色及び相互の関連を具体的に理解することができる。

☆評価の方法

- ・ 普段の学習態度や発言
 - ・ 学習ノートへの記述内容
 - ・ 学習ノートへのまとめ方
 - ・ 家庭学習の進め方
 - ・ 資料等の読み取り及び制作
 - ・ 社会科学習のてびき
 - ・ 単元ごとのテスト
- などを総合的に評価します。